



鮎釣りと私の25年

足立 宗助さん（奥沢）

年間に釣る鮎は2000～2500匹ほどで、現在は自然豊かな山梨の桂川で竿を出すことが多い、川のせせらぎや風景を楽しみながら釣る時間は、何にも代えがたい心の癒やしになっています。若いころには行動範囲も広く、車で6～8時間かかる川まで遠征したこともあり、その道中の出来事も今は良い思い出になっています。

釣った鮎は自分で食べてもとてもおいしいのですが、よく近くの方にも差し上げて喜んでいただいています。なかでも塩焼きが一番好きな食べ方です。

の趣味は釣りで、なかでも鮎釣りは25年続けてきました。とても大切な楽しみです。これまで鮎釣りの大会にも出場し、上達するためにプロの方の動画や専門誌で技術を学び続けた結果、4回の優勝を経験することができました。

また、鮎釣りとは別に体験記の執筆にも取り組んでおり、「俺のドラマ」というタイトルの本として出版されています。釣りへの思いと人生の喜びを込めたりで、機会がありました。ひがしちちぶの里山を眺めながら、村の自然と文化の魅力を伝える活動に、会員一同、喜びと誇りを感じながら取り組んでいます。



村を彩る曼珠沙華の里山活動

私は里山を楽しむ会の会長を務めており、結成から5年、会長も同じく5年間務めています。

この会は「東秩父村を曼珠沙華（彼岸花）で日本一有名にし、

村の魅力を多くの方に知つてもらいたい」という想いから立ち上げました。活動を始めてから

の5年間で、約600万球もの

曼珠沙華の球根を植え、村の里

山を美しく彩つてきました。植

えた球根はすべて寄付によるも

ので、多くの方のご協力のおか

げで続けられています。また、

毎年「ひがしちちぶ曼珠沙華まつり」も開催しており、多くの来場者に楽しんでいただいている

ます。花が咲き誇る里山を眺め

ながら、村の自然と文化の魅力

を伝える活動に、会員一同、喜